



現在、学校に通っていない少女は、世界でおよそ1億2900万人に上ります。

女の子を教育すると、すべてが変化します。ルーム・トゥ・リードの女子教育プログラムを通じて、これまで以上に多くの少女たちに手を差し伸べ、変化を実現できるようご支援ください。

女子教育プログラム：障壁を乗り越えて発展

ルーム・トゥ・リードの女子教育とジェンダー平等に関する活動は、少女たちが学校に通い続け、自分の人生を切り開くために必要なライフスキルを身につけることを中心に行われています。少女たちは、質の高い教育とメンターシップを通じて、自律した女性へと成長することができます。しかし残念なことに、新型コロナウイルスに伴うパンデミックにより、学校教育が中断し、少女たちの機会と未来が大きく損なわれています。

家事や経済的な苦境は女性に偏って影響するため、思春期の少女は特に、新型コロナウイルスに伴うパンデミックの影響を受けやすくなっています。少女たちが退学してしまうリスクも高まっています。経済的に不安定な状況に置かれている少女たちは、児童婚や性的人身売買などの搾取の犠牲となるおそれがあります。家族がかつてないレベルのストレスにさらされると、家族内の争いやジェンダーに基づく暴力のリスクも高まり、少女たちの自信や幸福感、人生の重要な決断を交渉する能力に悪影響を及ぼします。

このような状況の中で、ルーム・トゥ・リードは、女子教育プログラムの介入を実現するための新たなアプローチを確立しました。リモートメンタリングで少女たちに手を差し伸べ、ラジオやワークシート、ビデオを通じて、ライフスキルのレッスンを提供できるようモデルを調整しました。また、退学のリスクが最も高い女子生徒へのモニタリングを強化して、保護者に合わせた指導も行っています。こうした新しい取り組みにより、これまで以上に多くの少女たちとつながり、切実なニーズにも対応できるようになりました。学校が再開された後も、従来のスキルアップ、メンタリングセッション、マルチメディアツールなど、あらゆる手段を活用して、少女たちを支援し、それぞれに自らの将来を切り開くことができるよう支援しています。

成果

新型コロナウイルスに伴うパンデミック以来、**300万人以上**の少女たちが、ルーム・トゥ・リードの女子教育プログラムの恩恵を受けています。

2020年は、プログラムに参加し続けた少女たちの**95%**が次の学年に進級しています。

2000年以来、**13,000人以上**のプログラム参加者が中等教育機関を卒業しています。

2020年のプログラム卒業生の**73%以上**が卒業後1年以内に進学または就職しています。

ルーム・トゥ・リードのアプローチ

ルーム・トゥ・リードの女子教育プログラムは、少女たちの学業と人生の足跡を高めることを目的としています。少女たちが批判的に考え、日々の課題を自らの力で解決し、主要な意思決定者となる能力を身につけて、中学校を卒業することを目指しています。ルーム・トゥ・リードのプログラムには、中核となるコンポーネントがいくつかあり、地域の状況、個人のニーズ、学年に応じて提供されています。

1 ライフスキル教育

ライフスキルとは、共感力、批判的思考、自己効力感など、少女たちが十分な情報を得た上で意思決定するために必要な能力のことです。少女たちは、このようなスキルを身につけて、日常生活で活用することで、ジェンダーバイアスや勉強時間の確保など、さまざまな問題に対処できるようになります。ルーム・トゥ・リードのプログラムはまた、授業、ワークショップ、課外活動を通じて、ライフスキルを学び、実践する機会を創り出しています。2020年にはテレビやラジオによるライフスキルカリキュラムの普及を開始しました。今後も遠隔学習の機能を拡充していきます。

2 メンタリング

ルーム・トゥ・リードのプログラムに欠かせないのは、ソーシャルモビライザーです。つまり、メンターの役割を担い、少女たちやその家族と協力して、少女たちが学校に通い、ライフスキル活動に参加し、自分の人生を切り開く能力を身に付けて、思春期の困難を乗り越えられるよう支援する地域社会の女性たちのことです。2020年以来、ルーム・トゥ・リードのソーシャルモビライザーは、リモートによる1対1のメンタリングを実施し、ダイレクトメッセージプラットフォームを通じてグループメンタリングを展開しています。

3 物資面のサポート

家庭によっては、制服や安全な交通を確保するための出費が負担となり、娘たちを学校に通わせることができないことがあります。保護者らが、子どもたちについて、家族を養うための生活費と教育への投資の狭間で選択を迫られることがないように、ルーム・トゥ・リードは、授業料、制服、試験対策などの学校費用に対して、必要性に応じた物質的支援を提供しています。また、パンデミック発生以来、学校閉鎖中の少女たちの家庭学習を支援するために、ワークシートやノートなどの物理的な教材も提供しています。



4 家庭や学校、地域社会の参加

ルーム・トゥ・リードは、家庭や学校、地域社会との連携を通じて、少女たちが学校の内外で成長できる環境を築いています。関係者の関心を集めるために、保護者や養育者が、地域の課題に加えて、男の子でも女の子でも、子どもたち全員が、学校に通うことの重要性について話し合う地域ミーティングを行っています。また、プログラムの卒業生も、少女たちにとって、貴重なロールモデルであり、メンターやゲストスピーカーとしてプログラムに貢献しています。



行政との強力なパートナーシップ

中核的なプログラム活動に加えて、ルーム・トゥ・リードのチームは、市町村や国レベルの行政関係者と協力して、少女たちが学習しやすい環境を推進しています。行政との連携により、ルーム・トゥ・リードのプログラムは、国の取り組みを補完し、持続可能かつ国全体で拡充できるものとなっています。

信頼できる健全性

財務健全性

2007年以来、慈善団体の格付け機関チャリティ・ナビゲーターから、財政運営の健全性について最高ランク「四ツ星」を14回獲得。

識字率向上のリーダー

2014年米国議会図書館識字賞受賞、2011年ユネスコ孔子賞受賞、2014年世界子供大賞名誉受賞。

新型コロナウイルスに伴うパンデミックがもたらした課題への対応と優れた活動が評価され、2020年米国議会図書館識字率向上プログラム特別対応賞受賞。

ソーシャルイノベーター

ツイッター初のソーシャル・イノベーション・パートナー企業。スコール財団の社会起業家賞3回受賞。

お問い合わせ
お気軽にお問い合わせ
ください
info@roomtoread.org

ルーム・トゥ・リードのグローバル・オフィス：
サンフランシスコ・デリー・香港・ロンドン・ムンバイ・ニューヨーク・シンガポール・シドニー・東京・チューリッヒ